

令和6・7年度 青梅市教育委員会 研究指定校

研究主題

やってみよう・がんばろうという気持ちをもち、自分らしく生きる児童の育成

～ウェルビーイングの視点を取り入れた教育活動を通して～

4つの因子： ありがとう なんとかなる やってみよう あなたしく

GO GO 五小！



教育長挨拶

教育長 橋本 雅幸

本校では、2年間にわたり青梅市教育委員会研究指定校として、自分らしく生きる児童の育成についての取組を進めました。ウェルビーイングを実現するために必要な因子を授業に取り入れ、検証を繰り返すことで児童が「やってみよう」「がんばろう」と前向きに学ぶ姿の実現につなげました。児童が互いのよさを認め合える場を設定したり、校内掲示物の充実を図るなど、幸せに生活するための工夫を教育活動全体で取り組みました。また、「GO GO 五小！」のキャッチフレーズを児童と全ての教職員で共有したことでの取組が一層推進されました。本研究を推進されました松井良校長をはじめ、教職員の方々、御指導、御助言を賜りました講師の先生方、これまで本校の取組を支えていただいた保護者や地域の方々に深く感謝を申し上げます。

学校長挨拶

校長 松井 良

ウェルビーイング（Well-being）とは、身体的・精神的・社会的によい状態にあること、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念であると、定義されています。飛躍的に経済発展を遂げた日本において、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康まで含めて幸福や生きがいを捉える考え方方が重視されてきています。

本校の取組は、学級・学年経営の中で、失敗しても大丈夫、「なんとかなる」という安心感を抱かせ、支えてもらっていることに気付かせることで「ありがとう」の気持ちをもたせ、そのうえで、興味関心を引くような仕掛けで「やってみよう」の気持ちを奮い立たせ、それによって「あなたしく、自分らしく」生きる児童を育てるというサイクルを、全教育活動において意図的・計画的に取り入れながら進めてきました。本発表会が、こうした本校の取組によって、児童のみならず関わった全ての人のウェルビーイングにつながっていると多くの方に感じてもらう機会になればと願っています。

令和8年1月30日（金）
青梅市立第五小学校

教師の願い



あなたらしく（自分をしっかりともっている）

自分の強みや苦手が分かり（自己理解）、自分の役割を果たし、自分らしく生きる子



やってみよう・がんばろう（どんなことにも挑戦する）

自信がなくても失敗しても本当はやりたくなくてもやる子
発言 書く 伝える 考える 声を掛ける 聞く



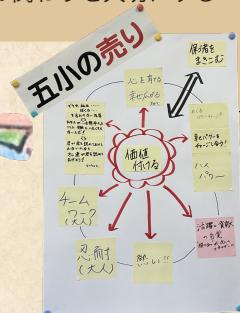
なんとかなる (失敗してもくよくよしない)

失敗を恐れない→なんとかなる
→なんとかする子
失敗しても解決策を考える 前向き
くよくよしないで切り替える



ありがとう（ありがとうを忘れない）

日常の中の小さなこと（当たり前）にも
気付き、伝える子
ありがとうの連鎖
人との関わりを大切にする



児童の課題

- ・自信がもてない
- ・学力面での課題
- ・やる気が出るまでに時間が掛かる
- ・やる気が持続しない
- ・集団の中に入れない
- ・自分で考えられずに指示を待つ
- ・工夫することが難しい

ウェルビーイングとは...

WHO ウェルビーイング=心身が満たされた状態

五小として、ウェルビーイングな状態とは『やってみよう・がんばろう』という気持ちをもち、自分らしく生きる状態と捉えた。その状態になる基盤として、「ありがとう」があふれる学校、そして安心して「なんとかなる」と思える環境づくりを目指した。また、『自分らしく生きる』とは、ありのまま、そのままの状態や自由でいいということではなく、『よりよい自分を求める姿』と捉えた。

HAVE YOU SEEN THIS PERSON?

TEAM GOSHO

いつも職員室を温かい場所にしてくれてありがとうございます。
安心して職員が話せる幸せな空間になっています。

初めての職場がこんなに心温まる職場で本当によかったです。五小最高！

子供たちのことをきめ細かく見て、いろいろ
伝えてくださりありがとうございます。

一番早く来て、一番遅くまで残って、一番疲れている
のに誰にでも優しい五小の女神！

「事務室から学校を変える」という信念をもち、新しいシステムを作つて、誰もが使えるように手厚くサポートしてくれて感謝です。おかげさまでとても働きやすいで！

周りのことをよく見て、その人に必要な声掛けをし
てくれる、まさに歩くメンター！

子供たちへの愛情がすてき。愛が伝わるから子供たちが変わっ
てきただね。職場にいつも元気と笑いをありがとうございます。

いつも先頭に立って私たちの道を示してくださいありがとうございます。

図書室の整備、ありがとうございます。季節に合わせた装飾
や本があり、思わず図書室にずっと居たくなります。

若手にマジックのネタを惜しげもなく提供して
くださるその心意気、かっこいいです。

どんなときも子供を信じ、指導を続ける。その信念にいつも元気を
もらっています。あなたに出会えた子供たちは幸せ者です。

仕事を依頼すると、翌日には完璧に準備をしてくださ
っています。丁寧な仕事ぶり、こちらの意図を汲み取
って行動してくれるところがありますがたいたいです。とても
頼りにしています。

どんな困難な状況でもポジティブな発言

と笑顔が絶えない。尊敬です。

朝早くから学校中の掃除をありがとうございます。
されいなことが当たり前となるくらい毎日磨き上げ
てくれていること、感謝しかないです。五小が落ち
着いた幸せな空間になっています。

レインボールームで温かく見守ってくださり、本当にあ
りがとうございます。安心して送り出すことができます。

「何でもやりますから、いつでも言ってくださいね。」
その一言に、いつも救われています。

辛いとき、不安なとき、考えすぎてしまうとき、明
るい雰囲気にしてくれて、気持ちを軽くしてくれてあ
りがとう。「何となる」って強く思えました。



「チーム五小」=「感謝！」これに尽きます。
皆さんと一緒に働くことができて幸せです♥

カッチカチの砂場をすぐに耕してくれたので、走
り幅跳びができました。淡々と仕事をするその後
姿がっこいいです。

いつも子供に寄り添って、温かく前向きになれる言葉
をたくさん掛けてくださり、ありがとうございます。

ゼロから全てを楽しく教えてくれてありがとうございます！
タンクトップが似合う男を目指します！

若手として学ぶ姿勢があり、仕事を頼むと自分で工夫して実行することもできる！素晴らしい！

なんでも気軽に聞ける同期がいてくれてとても助かっています！ありがとうございます！

いつも温かく、爽快な声で対応してくださいありがとうございます。心配ないさ！って感じがして安心できます。

お願ひしたことを、すぐに丁寧にやってくださりありがとうございます。何作るんですか？と
聞かれて、「楽しそう！」と言われるとこちらまでうれしくなるのであります。

子供たちの成長のために、ここまで共に試行錯誤してくれば、ありがとうございます。毎日楽しく仕事ができます。3学期末まで一緒に走り切りましょう！

自分にできることをどんどん引き受けてしまったり仕事を進めていくことが素晴
らしいです。学ぶ気持ちがある人は成長します。いつも一緒に楽しく仕事ができる
ことに「ありがとうございます。」

子供たちのために楽しい英語のゲーム
をたくさん考えてください Thank You!

授業の準備や子供たちの見守りをしながら、担任を支えてくださり、ありがとうございます。
1年生の子供たちも、担任も、安心して活動に取り組めています。

どんなことがあっても穏やかで、子供の気持ち
に寄り添った指導をしていて見習いたいです。

心が広いのではなく深い男です。その心の深さに感動をしています。

どんなときも一緒に戦ってくださり、
ありがとうございます！

細部まで考え抜いた仕事ぶり、すてきです。掲示物のアイディア
も、それを実行する力も、素晴らしいです。



ウェルビーイングを求めて出発!!



目指す児童像

自分の強みや苦手が分かり(自己理解)、
自分の役割を果たし、
自分らしく生きる子

よりよい自分を求める姿

①実践したこと

～ウェルビーイングの視点を取り入れた教育活動～

■教職員のウェルビーイング 主動的に働く職員集団

子供を変えるにはまず大人から!
→教職員が様々な場面で声を出して、子供に向けてだけでなく大人同士も
たくさん笑めて価値付ける。

- 新しい出会いを大切に 4月1日に自己紹介と五小ツアーアンケート
- 否応なら入らる「やってみよう」と動ける集団
- 教職員における情報共有のスムーズさ（座席配置の工夫）
- 手本を見守り、任せても伸びば。
- CUTで自分を表現
- 例：運動会の見どころ 個人面談 板書 言葉会 移動教室など
- トライアーハント（五いの授業を気軽に参観）
- 一授業を参観したら、クラスの子供たちを価値付け、授業者を
価値付け、そして指導のヒントを自分の宝物として持ち帰る。



■児童のウェルビーイング

- 日常生活を大切に
挨拶・掃除 約束を守る 時間を守る 当番や委員会の仕事
・授業
- 4因子から焦点化
- 行事
自分らしさを発揮し、互いのよさを子供たち同士で認め合える工夫
例：運動会のリハーサルで互いの表現を見せ合う
移動教室 音楽会
- 掲示物
教室の貢献コーナー ウェルビーイングロード 学年掲示板などの活用
→価値や軌跡を可視化
- 「すてきなたからもの」の紙芝居の作成
→ウェルビーイングを誰にでも分かるように

2効果があると認められた手だて（2年間の検証と実践より）

＊2年間の検証授業の検証会では、手だてが有効であったかに焦点を当てて話し合ってきた。

見通しをもたせる

- 魅力的なゴールの設定
・児童が手に手を貸すこと
・物語や絵本などを読みながら作る
・出前のお手本になろう
・国語クイズ大会を開こう
- ワクワクした活用
・生徒や本家の流れが分かる
・どこに何を書きばよいか分かる



スマールステップ

- ・ 小さない目標を達成することで、少しづつできるようになる遊びを終わらせるまで見通しをもつことができる。
- 例：運動会当日を150字程度でまとめる前回の200字程度のキヤッチャコードを達成する。
- 例：リコーダーの音符等、スマールステップの表にして示し達成することに色を添てる。

導入の工夫

- ・身近な場面を想定した動画を作成し、導入で見せることで、児童が自分達として捉えられるようになる。
- ・児童が自分達で見つけたものや感じたものや何ぞ的な物事を組み付ける。



友達と協力して解決

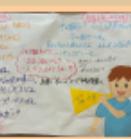
- ・ペア学習 グループ学習
- ・ニンジャタイム（友達のノートをそっと見に行く）
- ・グループингの工夫（能力差 同一課題）

例：自分の考えを書いた後にペアで見せ合う。その後書き足してよい。



「型」の提示

- ・赤く塗りやす型
- ・赤く塗りやす内容の見通しがもてる。同じようにやればよいという安心感
- 型は心の「お守り」



温かい言葉掛け

- ・児童同士の温かい言葉掛けに教師が価値付け
- ・教師の温かい言葉掛け
- ・場の空気を一気に明るくする
- 前向きな空気氛に変える
- ・さらに児童同士の温かい言葉掛けが増える



3チーム五小が見付けた「すてきなたからもの」

- ★「ありがとう」があふれる学校生活
- ★「なんとかなる」と思える安心感
- ★「やってみよう・がんばろう」と思い、挑戦する姿
- ★よりよい自分を求める、自分らしく生きる子供たち



- ・教師が毎日頑張った。
こわなったけれど、諒めずに頑張ったからできるようになった。
- ・友達が増えたし、前よりちょっと強くなったかもしれない。

- ・3年生の1学期は、隠すことがあれど、隠しておいていたけれど、3年生の2学期から少しすずくとかもなと思つてしまわつたと思った。
- ・友達がそばにいてくれたから1学期がもっと楽しかった。
- ・友達と相談をしながら取り組んなら、勉強がもっと好きになってしまった。



これからもチーム五小の旅は続いている・・・